



並木中等story

令和4年12月13日号

人としての総合力

“人としての総合力”というものは実際にはありません。しかし、私はこの力が生きてゆく上で大切だと思っています。この力の指標はたくさんありすぎて、偏差値のような数値でも表すのも困難です。私は感覚で「この人は総合力が高いな。」などと思っています。



では、総合力が高い人はどのような人か。私は過去に実施した面接試験などでは、次のような人に総合力があると感じていました。

周りの様子がよく見えていて配慮ができる人、筋道を立てて自分の考えをしっかりと、しかも簡潔に説明できる人、冷静に対応できる人です。テストの点数は取れるが、周りの人を蔑むような人は総合力は低いです。また、説明は下手だが、説得ある文章を書く人もいます。すべて満点という人はいない

と思います。暇な時に“人間ウォッチング”をしてみてください。「この人はどのような良い点があるのかな？」などと見てみると、人のさまざまな長所が見えてきます。

いろいろな経験をしていくと、いろいろな面が鍛えられ、人としての総合力が上がります。勉強も大切です。人としての自分を磨くことも大切なのです。

《祝 JSEC科学技術チャレンジ竹中工務店賞受賞！》

JSEC2022第20回高校生・高専生科学技術チャレンジ最終審査会（全国大会）で、本校5年野末さんが竹中工務店賞を受賞しました。研究タイトルは「持続可能な社会の実現に向けて～竹繊維を用いてヒートアイランド現象から地球を救う！！～」です。おめでとうございます。